

答え合わせ・解説

問1	答え 2 山	「船頭多くして船山に登る」の「山」の部分が入ります。意味は「指図する人が多すぎて、物事がとんでもない方向に進んでしまうこと」です。
問2	答え 2 自分から進んで災難や危険の中に飛び込んでいくこと	「飛んで火に入る夏の虫」は「自分から進んで災難や危険の中に飛び込んでいくこと」という意味です。
問3	答え 3 年をとったら、何事も子供の意見に従うほうが円満に行く	「老いては子に従え」は「年をとったら、何事も子供の意見に従うほうが円満に行く」という意味です。
問4	答え 1 善光寺参り	「牛に引かれて善光寺参り」の続きは「善光寺参り」です。意味は「他の誘いや偶然のきっかけによって、思いがけず良い方向へ導かれること」です。
問5	答え 2 馬	「塞翁が馬」の「馬」の部分が入ります。意味は「人生の幸・不幸は予測できず、変化しやすいものだ」です。
問6	答え 2 捨う神あり	「捨てる神あれば拾う神あり」の続きは「捨う神あり」です。意味は「ある人に見捨てられても、他の誰かが助けてくれるものだ」です。
問7	答え 4 似た者同士は自然と集まりやすい	「類を以て集まる」は「似た者同士は自然と集まりやすい」という意味です。
問8	答え 4 あまりに清廉潔白すぎると、かえって人から敬遠されて仲間が集まらない	「水清ければ魚棲まず」は「あまりに清廉潔白すぎると、かえって人から敬遠されて仲間が集まらない」という意味です。
問9	答え 1 病気を治す専門家なのに、自分自身の健康には無頓着であること	「医者の不養生」は「病気を治す専門家なのに、自分自身の健康には無頓着であること」という意味です。
問10	答え 3 好き好き	「蓼食う虫も好き好き」の続きは「好き好き」です。意味は「人の好みはさまざまであり、他人がとやかく言うことではないこと」です。
問11	答え 3 物の上手なれ	「好きこそ物の上手なれ」の続きは「物の上手なれ」です。意味は「好きなことに対しては熱心に取り組むので、自然と上達するものだ」です。
問12	答え 4 人知れず良い行いをしていれば、いつか必ず良い報いがある	「陰徳あれば陽報あり」は「人知れず良い行いをしていれば、いつか必ず良い報いがある」という意味です。
問13	答え 1 地頭	「泣く子と地頭には勝てぬ」の「地頭」の部分が入ります。意味は「道理の通じない相手や権力者には、何を言っても無駄なので従うしかないということ」です。
問14	答え 2 どんな場所でも、住み慣れてしまえば居心地が良く感じられるものだ	「住めば都」は「どんな場所でも、住み慣れてしまえば居心地が良く感じられるものだ」という意味です。
問15	答え 4 衣装	「馬子にも衣装」の続きは「衣装」です。意味は「どんな人でも身なりを整えれば立派に見えるということ」です。
問16	答え 1 閑あり	「忙中閑あり」の続きは「閑あり」です。意味は「どんなに忙しくても、工夫次第で休む時間は作れる」です。
問17	答え 2 大怪我	「生兵法は大怪我のもと」の「大怪我」の部分が入ります。意味は「中途半端な知識や技術で物事を行うと、かえって失敗や大きな損害を招くこと」です。
問18	答え 3 忘るべからず	「初心忘るべからず」の続きは「忘るべからず」です。意味は「物事を始めた時の謙虚で真剣な気持ちを忘れてはならない」です。